

白門文京

第 15号

中央大学学員会東京文京区支部

〒 113-0033 東京都文京区本郷 4-26-8 松しん内

TEL . 03(3814)7059 FAX . 03(3814)0583

メール . shigeru@matsu-shin.jp

編集責任者 松沼 茂

発行責任者 野口昇兵

平成二十九年 度定時総会

「すしざんまい」 木村清氏 講演

平成二十九年 度定時総会は、七月二十一日(土)午後六時より、東京ドームホテル「後楽園飯店」において、戸井田副支部長の司会により、第一部総会が開催された。

中央大学校歌斉唱の後、野口支部長が挨拶、引き続き支部会則に則り、野口支部長が議長を務め、一号議案(28年度事業報告)・二号議案(28年度決算報告・監査報告)・三号議案(29年度事業計画案)・四号議案(29年度収支予算案)が滞りなく出席者全員の拍手によって承認された。最後に、戸井田副支部長の閉会挨拶により定刻通り午後六時三十分

に終了した。十分間の休憩の後、第二部講演会は、いまや世界のマグロ大王と呼ばれるすしざんまい・(株)喜代村社長の木村清氏の登場。氏は、中学卒業後航空自衛隊勤務を経て、司法試験を目指して中央大学法学部に入学した苦労人。普段は見かけることのないマグロ解体用の大型包丁数種類を持参しての模擬解体ショーの披露で会場の大喝采を浴びた。

第三部懇親会は、来賓多数を迎えて盛大に開催され、二十一年目の意義ある総会の幕を閉じた。(二頁に続く)



集合写真(A)



集合写真(B)

平成 29・30 年度役員

名誉会長

大久保治男

会長(支部長)

野口 昇兵

副会長(副支部長)

倉田金三郎 浮田 秀則

久代 信次 戸井田ひろし

相談役 土屋 頼子 飯田 康治

幹事長(事務局長)

松沼 茂

副幹事長 相場 有二 田村 悟

大和田 實 染野 郁郎

監事 大根田昌生 龜谷 卓夫

幹事 浅井 誠一 大野 雅樹

小川 祝 奥野 光績

桂 やまと 川野 邦仁

菊池 靖雄 島崎 修

竹本 方英 玉井 三郎

利根川伸行 松田 茂

宮崎 治子 山田 伸吾

学校法人中央大学評議員

野口 昇兵 松沼 茂

白門奨学会評議員

松沼 茂

中央大学商議員

大久保治男 田村 悟

中央大学学員会幹事

相場 有二 松沼 茂

学員会協議員

大久保治男 大野 雅樹

野口 昇兵 染野 郁郎

久代 信次 田中 秀樹

田村 悟 松田 茂

「マグロの解体」 模擬実演

木村社長、波乱の半生を語る

平成二十九年度文京区支部定時総会第二部講演会は、すしざんまい社長・木村清氏と懇意の松沼幹事長の司会進行により開催された。

木村氏は一九五二年、松沼幹事長の故郷古河市と利根川を挟んだ対岸の千葉県野田市生まれ。幼少期の苦難な時代の話から始まった。

地元の中学卒業後、F104パイロットに憧れ十五歳で航空自衛隊に入隊した。十八歳で大検に合格。しかし交通事故で目を患ったため、パイロットの夢を諦め、一念発起して除隊し、司法試験をめざし中央大学法学部に入学。



木村清社長の講演

在学中に大洋漁業関連の会社に勤務したが、そこで世界一のマグロに出逢って、その偉大さに魅了されたという。

一九七九年に木村商店を創業したほか、以来数多くの事業を展開し、幾多の困難、苦勞を乗り越えてきた。その中で、『ダメだと思つた時が夜明け前』という教訓を得た。マグロに情熱を込めて二〇

一年、築地場外に日本初の24時間営業の「すしざんまい本店」を開店。この店は人気を呼び急成長を遂げ、現在日本国内で五十店舗を展開しており、開業15周年を迎える。営業方針は「安く・うまい」



一億五千万円マグロ解体包丁を手に



野口支部長の謝辞

で、海外からの多くの観光客にも愛される行列のできる人気寿司チェーン店として有名。ここ数年は、正月の風物詩として築地のマグロ初セリがテレビ等で大きく取り上げられ、すしざんまいと木村社長の名は全国に轟いている。

波乱の半生を語る講演会の後半では、テレビ等の報道で日本中の度肝を抜いた「二〇一三年の「築地初セリ一億五千万円で落札」の際のマグロ解体ショーで使用された大型包丁数種類を披露。そして会場の関係上、マグロ無しの疑似解体ショー実演となったが、満場の大喝采を浴びた。講演後、木村社長は、著書『マグロ大王』を紹介、自著本にサインを行った。

盛況の懇親会

講演会終了後、第三部の懇親会を開催した。司会は会員

の落語家、桂やまと師匠と松沼幹事長が担当。

文京区・後楽園キャンパスへの法学部復帰問題や、築地の風雲児・マグロ大王の講演とあつて、大学より大村雅彦新理事長、林勘市常任理事、石井理工学部長、学員会からは久野修慈会長、大木田・水津両副会長が、又、都区内各支部より支部長・幹事長はじめ関係者多数の来賓にご列席いただき、会場の後楽園飯店胡弓殿が熱気にあふれる中、宴の幕を開けた。

来賓の大村中央大学・新理事長、久野学員会長からご挨拶を戴いた。成澤廣修文京区長の祝辞の後、乾杯懇親会へ。列席のご来賓紹介の後、飛び入りの挨拶などもあり、場を盛り上げた。そして、全学員が強い関心をもつ箱根駅伝に関して、最近YouTubeでも配信されて一般への認知が深まっている応援歌『走れ獅子の如く』の紹介・披露が、作詞者の赤池三男氏（昭42経卒）から行われた。

さらに野口支部長手配のシャノン歌手登場等々で宴も最高潮に、そして恒例の中大応援団の演武へ。今年の高島優作応援団長と横山貴俊団長補

佐の力強い校歌・応援歌に呼応し、参加者一同身も心も学生時代へ。宴の最後は飯田文京区支部相談役の大締めめで、たくお開きとなった。



熱気あふれる懇親会場

走れ 獅子の如く

作詞 赤池みつお
作曲 いたうようこ

一 皇居・タワーを 右に見て
燃える血潮は天下のけんに
あつき伝統 白門の
走る 走る ひた走る
二 受けた・渡した 鶴見橋
赤い襷は 小旗の波に
ピルの谷間を 戸塚宿
走る 走る ひた走る
まつは平塚 東海道
三 富士を仰いで登る坂
城の小田原 試験の山を
挑む男の汗が飛ぶ
走る 走る ひた走る
今ぞ学友待つ 箱根山
走れ 走れ 獅子の如く
頑張れ中央 明日もある！



大村理事長

学校法人 中央大学
新理事長に大村教授
平成二十九年五月二十六日
開催の理事会において新理事
長に本学の大村雅彦法務研究

長期事業計画「CHUOVIS
ION 2025」を策定し、
同年一月プレスリリースし
て社会に公表しましたが、中
長期事業計画の中核は、中央
大学の未来を決するといつて
も過言でないキャンパス整備
事業です。



東京文京区支部の皆さま、
平素から中央大学に多大なご
支援をいただき、誠にありが
とございます。後楽園キャン
パス整備に向けた取組みの
状況をご報告いたします。
中央大学は、創立一三三周
年を機に、今後一 年間の中

後楽園キャンパス整備の取組み

中央大学常任理事 林 勘市

その内容は、多摩キャン
パスと後楽園キャンパスの2
大キャンパス化をめざす。多
摩と都心それぞれのキャンパ
スの特徴を際立たせて、学生
に選択される魅力あふれるキャン
パスをつくる。多摩キャン
パスは豊かな自然とダイバー

めざす、というものです。
後楽園キャンパスは、高台
にあつて小石川後楽園方向や、
礪川公園の先の文京区役所方
向への眺望が素晴らしく、ま
たJR水道橋駅及び地下鉄4
線の駅が交差する交通の要衝
の地にあります。現在、春日・

シティに富むグローバルキャ
ンパス化をめざす。後楽園キャ
ンパスには法学部と法科大学
院を一体的に配置し、理系の
先端技術者、リーガル系・ピ
ジネス系の専門職業人並びに
上級公務員等を養成するプロ
フェッショナルキャンパスを

後楽園駅前地区再開発事業が
進行中であり、文京区役所を
中心点として、東京ドームの
ある後楽園も含むその周辺一
帯は、今後一層発展すること
が期待されます。そのエリア
の一角に位置する後楽園キャ
ンパスは、正に法学部を都心
展開させる上で、絶好の地と
いえます。

科教授が就任。又新たな常任
理事には大橋正和氏、林勘市
氏、間島進伍氏、山中温氏が
就任。なお橋本基弘理事は十
一月より常任理事に就任しま
す。任期は平成三十二年五月
二十五日までの三年間。
我が文京区支部は、地元後
楽園キャンパス新構想実現に
向けて、支部一体となつて後
方より全面支援する所存です。

ただし、現状の後楽園キャ
ンパスは、現存の理工学部校
舎で容積率をほぼ使い切つて
いるため、都市計画の変更決
定により法学部棟を建築する
に必要な容積率のアップを得
る必要があります。そのため
には、本学が、都市環境の向
上、地域住民の皆さまの利便
性の向上に資する実現可能な

地域貢献策を策定して、文京
区及び東京都に提案し、その
貢献策を評価してもらう必要
があります。
そこで、本学は、その実現
に向けて、現在、行政ご当局
に地域貢献策の具体案を提案
するため事前相談を進め、都
市計画に精通したコンサルの
協力を得ながら、具体的な地
域貢献策を整える作業を精力
的に進めています。
これらの作業を進めている
間は、その動きが外からは見
えませんが、中央大学の輝か
しい未来のため、その実現に
向けて一生懸命取り組んでい
るところです。
最後に、東京23区内での
大学の定員増を原則として認
めないとの政府方針の動きが
あり、法学部の都心展開の実
現にとつて、新たな課題が加
わりましたが、大村雅彦理事
長が、学員時報6月25日号
の紙面で、後楽園キャンパス
整備の見通しと決意を表明さ
れていますので、学員の皆さ
まにおかれては、後楽園キャ
ンパス整備に向けた大学の取
組みの状況をご理解いただき
今後とも一層のご支援を賜り
ますよう、よろしくお願い申
し上げます。

ある一家の会話

ママ: スパ!

パパ: ボウリング!

ママ: ショッピング!

ママ: ホテルでディナー!

ママ: 今度のお休みどこに行く?

ママ: 野球観戦!

ママ: 遊園地!

ママ: ボクシング!

ママ: ヒーローショー!

ママ: バブー!!

赤ちゃん

まともならなくても大丈夫。
東京ドームシティなら、
行きたいところ全部あります。
家族みんなが楽しい東京ドームシティ。

東京ドームシティ わくわくダイヤル 03-5800-9999

東京ドームシティ 公式WEBサイト ▶ 東京ドームシティ で 検索



平成二十九年の大河ドラマは「おんな城主・井伊直虎」である。十六世紀の戦国時代の井伊家は浜名湖の北、井伊谷の小さな領主で駿河の今川、

で井伊家の当主・直盛も戦死すると、その一人娘「次郎法師・直虎」が女城主となり井伊家を継ぐ。許嫁・直親も殺害され、井伊家の血統の男子

天正三年（一五七五）二月、徳川家康が鷹狩りに出られた折、十五歳になっていた虎松は家康との面会も出来、（虎松の父直親は家康の正室・築

主となった。トラパーユに成功したのである。この時私の先祖・大久保新右衛門尉藤原忠正（大久保相模守忠隣小田原城主や彦左衛門のいとこにあたる）は家康公の側近の重臣（家康の祖父の時代よりの旗本）で、家康の命令にて新参者の井伊家の「目付け」となり、彦根藩を創設、彦根城も築いて井伊家初代を迎える。

して譜代筆頭彦根藩三十五万石を幾久しくお守りするのである。この頃より約三百年後の井伊直弼の時代も私の曾祖父・大久保小膳貞好は、直弼の兄・尚亮、直弼の子・直憲の三代の藩主の側役として、幕末から明治維新の大変革期に活躍するのである。

大河ドラマ『おんな城主 直虎』考 井伊家と大久保家の関係

（名誉会長）大久保治男

甲斐の武田、三河の徳川から睨まれ、今川の配下であった為、井伊家の男子たちは幾度の合戦での戦死や今川の謀略により殺害され後継者は全滅に近くなった。桶狭間の合戦

は直親の子・虎松（後の彦根藩井伊家初代になる直政）だけになった。謀殺を恐れこの子も寺に隠して、後見人ともなった直虎はその成長を見守っていた。

山殿のいとこでもあった井伊の姓に戻り、「万千代」の名前もいただいて家康の小姓として三万石の家臣となることのできた。そして元服後は直政となり、彦根藩・初代藩

で煌びやかな中門から参拝。藤の花房は残念ながら時期はずれで見られなかったものの、御朱印を頂き、崇敬の念を抱きつつ春日大社神苑萬葉植物苑前を通り、折からの小雨と鹿の糞の強烈なおいのちの中、東大寺大仏殿に向かい、華厳宗総本山東大寺大仏殿に到着。聖武天皇の発願により天平勝宝四年（752）開眼の大仏様（盧舎那仏）に九拜、御朱印頂戴後、東大寺ミュージアムのカフェで抹茶を喫し、近鉄奈良駅にて妻と別れ、帰路についた。

また、八月三十一日は薬師寺、唐招提寺を訪れ、九月七日には奈良博物館を予定している。（昭42年法・政卒）

ひよんなことから妻が年に数回、奈良に出かけ、その都度四日ほど滞在することになり、私も妻のお供で日帰りの奈良旅行を楽しんでいる。

御朱印を頂き、春日ホテルで出汁の美味しい和食膳を食し、近鉄奈良駅までの散策を楽しみ、「柿の葉寿司」を土産に帰路につき、我が家には

七月十四日（金）は、前回と同じ新幹線で奈良に向かった。最初に妻の滞在先ホテルに荷物と預け、昼食後、近鉄奈良駅前から市内循環バスに乗り、

また、八月三十一日は薬師寺、唐招提寺を訪れ、九月七日には奈良博物館を予定している。（昭42年法・政卒）

古都探訪

妻に曳かれて奈良参り

大和田 實

五月十五日（月）は、妻の用務先の視察を兼ねて朝七時に津田沼を出発、京都を経て近鉄高の原駅に到着したのが十時半頃、バスで十分ほどで用務先に到着。視察後、タクシーで、妻の滞在先ホテルを経由して、奈良公園近くの「興福寺」に直行。憧れの「阿修羅様」に大興奮、ゆっくりと拝観することができ大満足。

二十一時ころに到着。朝早くから夜遅くまで一人（二匹）で留守番をしていた愛犬チャロの盛大な出迎えは、隣近所に私の帰宅が知れることになった。

春日大社に向かい、七月七日のNHKの番組で、畏まって座している文京白門・野口會長の姿を思い出しながら南門から参拝順路に従い、吊り灯笼が続く東回廊を通り、荘厳

また、八月三十一日は薬師寺、唐招提寺を訪れ、九月七日には奈良博物館を予定している。（昭42年法・政卒）



東大寺大仏殿

感動の「古希記念登山」

染野 郁郎

二〇一七年六月一八日、二二日にかけて、「古希」を記念して、現役時代の職場の仲間五人で、最北の百名山「利尻富士（一七一九メートル）」と、花の島「礼文島」へ出かけました。

標高差一五〇〇メートルを往復するコースで、宿を早朝五時出発。登山口である利尻北麓野営場迄宿の車で送って戴き、五時三〇分に歩き始めました。



利尻山頂にて

登山口の入り口には、登山靴の底を洗う場所があり、山に余分なものを持ち込まないよう工夫されていました。歩き始めて一五分のところに、「甘露泉」という名水一〇〇選の水場（登山中最後の水場）があり、のどを潤し、鳥のさえずりを聞きながら一七一九メートルの山頂をめざしました。

四合目・野鳥の森 五合目・雷鳥の道標、六合目・第一見晴台、七合目・胸突き八丁、第二見晴台、八合目・長官山 ここまでは楽勝のペースで登りました。

休憩するたびに景色を堪能何せ、島の真ん中にそびえる山ですから、まるで、海にそびえ立つ山のようにです。八合目の休憩の時は、ものすごい強風に見舞われ、どうなることやらと思いました。

九合目から山頂までは、登山道が崩れていて、ざらざらの小砂利が敷き詰められ、ズルズル滑りながら歩きました。山頂直下では、右側が深い谷となり、足下は不安定、左側の頼りないロープ伝いに、落ちないように慎重に登りました。

山頂には、小さな「神社」があり、「古希」の報告をしました。若干雲が多かったため「樺太」を見ることが出来ず残念でした。

花の島「礼文」は、「礼文あつもりそう」が最大の目標でした。「礼文あつもりそう」群生地は一週間前に花が終わってしまい、残念ながら閉鎖さ

「東富士演習」体験記

松沼 茂

この度自民党副総裁高村正彦先輩秘書の川野邦仁会員のルートで、陸上自衛隊東富士演習の入場券を入手、家内と一番電車で都宮三田線・新宿線、小田急線、JR御殿場線と乗り継ぎ、噂に聞く御殿場の東富士演習場に駆けつけた。演習は午前十時から十二時だが、九時に現地着、案内された指定の観覧席A・Bスタンドはすでに多くの見物人と熱気で溢れていた。斜め右前方の富士山から左へ見渡す限りなだらかな平原。なるほどこれが、源頼朝の鹿狩り・曾我兄弟の仇討ち等々歴史上何

れていました。しかし、群生地より少し坂を登った反対側の斜面に、わずかでしたが咲いているのを発見し、感激しました。

四泊五日の「利尻富士」「花の島礼文」は、感動の連続で、十二分に「古希」を記念した山旅になりました。

(昭44年法卒)

「場と納得の大パノラマだ。又演習タイトルも「日本を防衛力」「陸上自衛隊富士総合火力演習」と力強い。

そしてその内容は三キロ先の標的への各種りゅう弾砲射撃に始まり、中距離迫撃砲・誘導弾攻撃、近距離機関銃射撃、最新兵器の水陸両用車の登場と内容も多彩。一方空か

雑記「源氏会半世紀」

高松常太郎

三年前、当会の松沼茂さんから、君原健二さんに関して



実弾射撃の東富士演習場

らは、高高度から空挺の降下演技、攻撃ヘリアパッチの敵撃破射撃等を初体験。

又戦車砲四門の同時発射音は、約五十年間、散弾銃とライフル銃を手に鹿やきじ・ヤマドリを追った小生には心地よい爆風と射撃音だったが、家内は予期せぬ戦車砲の轟音に体を震わせてびっくり状態。ともあれ、きな臭い中東や日本海の今の時勢、「日本の守りに汗する隊員達」苦勞さん」を強く胸にした一日でした。

電話がありました。以来、いろいろと沢山のご支援、ご鞭撻

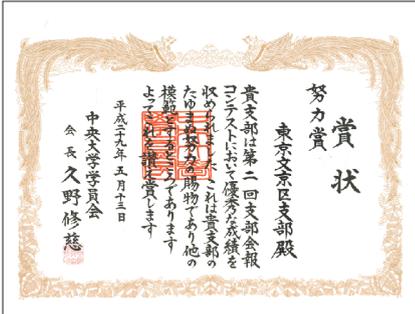


代表 常会 松源 高松 太郎 氏

をいただき現在に至っていません。松沼夫妻の優しさ、包容力に富んだ人柄に私たちは惚れ込み、更に深い絆で結ばれています。

私たち経済学部クラスメートを中心に、卒業後「源氏会」という会を発足させました。

半世紀経過しましたが、その中に円谷幸吉さんがいた関係在学四年間とその後多忙で充実した日々をみんなで送っていました。現在、君原健二さんもこの源氏会の会員です。昭和三十九年の東京オリピック後は、テレビ出演やマ



第二回支部会報コンテストで表彰



前列左から二人目 野口文京区支部長

スコミの取材も多く、私も「栄光のスポーツマン」という朝日テレビの六十分番組に友人代表で出演しました。また、円谷さんの練習や合宿に同行したり、源氏が応援団体の一つになり楽しい青春時代でした。

三十七年前に円谷幸吉メモリアルマラソン大会が発足しました。今年は第三十六回目になりますが、日本陸連公認コースで、福島県須賀川市の彼の故郷で毎年十月第三日曜日に開催しています。

君原健二さん、宮路道雄さん（円谷幸吉伴走者）、神立修司さん（クラスメート親友）らが参加していますが、神立さんは毎回、円谷幸吉さんの写真をゼッケンに縫い込み走っ

ています。

昨年四月十六日第一二〇回ボストンマラソンの応援に源氏会他で行ってきました。君原さんは五〇年前の優勝者として招待され、七十五歳で四二・一九五km完走しました。二・一九五km完走しました。二・一九五km完走しました。二・一九五km完走しました。



茨城県民の春

俺らが郷土茨城県の大関・稀勢の里が初場所ですついに初優勝。全国民が待ちに待った瞬間であった。稀勢の里関はモンゴル勢が相撲界を席捲する中で、若くして頭角を現し、とんとん拍子に？大関に昇進さあ、次は日本人横綱との期待・チャンスの前で何度も失速、半ばあきらめ感の中での優勝と横綱昇進へ。そして春場所が怪我を押しての連続優勝。パンザイ・万歳の茨城県民には弟弟子・高安の大関昇進の慶事が続いた。

我が町文京の坂 古河市（南茨城村）出身農家の次男より 文人の町として知られる文京区は坂の町でもある。広くない区に目白台と本郷台の二つの台地が複雑にiri込み多くの坂をかたち作っている。主な坂は、豊岐坂・団子坂・妻恋坂等々枚挙に暇がないが、無名に近い坂を含めると区内には百以上もの坂が点在する。五千円札に登場の樋口一葉の住んだ菊坂界隈でも多くの坂がある。



本郷界隈 燈坂

宮沢賢治が住み、急坂で知られる胸突坂は、一葉の通った伊勢屋質店の直ぐ近くにある。それらの中心を通る、いわゆる菊坂は、地元のお寺に納める菊の畑が広がっていた為とか……。

会員募集

文京区支部では新しい会員を募集しています。中央大学を卒業され区内に住居または仕事場や、稽古場等がある方が対象です。年会費三千元（入会金無料）連絡先 事務局 松しん内 松沼茂 電話 38147059 FAX 38140583 Email: sninger@atsu-shin.jp 会費振込先 郵便振替 一六 三五一七七五 白門会 文京支部

平成二十八年度の旅行会

善光寺参りと真田松代巡り

支部会員の生涯学習研修旅行は、七回目を迎えた。今回は、NHK大河ドラマ『真田丸』にちなんで、信州信濃「善光寺参り」と松代・真田信之の偉業を見学するとして昨秋十一月六日、七日の一泊二日で催行した。

第一日目

今は、新幹線に乗って善光寺参りである。東京駅から北陸新幹線はくたかで、総勢九人の旅となった。

長野駅で下車し、善光寺を参拝後、真つ暗闇のお戒壇巡りをした。一日の疲れを取るため温泉に浸かり、大宴会とカラオケ大会で英気を養った。

第二日目

北陸新幹線に乗りし、長野駅を経て松代駅へ。駅裏の松



松代城址前で記念撮影

代城址（もとは海津城と呼ばれていた）に入り、本丸址の石垣、櫓門、木橋などを見て回った。

その後、真田宝物館を見学した。真田信之から十代、一度の移封もなく、幕末までおよそ二百五十年に渡って松代を治めた真田氏が所有した道

中央大学の未来のため 白門飛躍募金に協力を

躍募金』寄付金の募集を行っています。

母校中央大学は、グローバル化に対応した存在感のある大学をめざして、中長期計画を策定していますが、十年間で七十億円を目標に、『白門飛

躍募金』寄付金の募集を行っています。当支部でも、出来る限りの協力をしたいと思っております。よろしくお願いいたします。要項は支部事務局、委員会等に用意してあります。

具類や資料を見学。若干の自由行動の後、長野駅発・長野新幹線あさまに乗り、東京を目指した。

今回は、美味しい蕎麦、ボリューム満点の夕食、秋の季節感溢れる栗ご飯など、お腹満腹の旅行でした。

肥後細川庭園の花見会

当支部の「白門文京花見会」は、区内の桜名所を訪ねる恒例の花見会です。

今年の善男善女は肥後熊本細川候下屋敷の面影を残す池泉回遊式庭園の「肥後細川庭園」を探幽。

この地は江戸中期には旗本の邸地となり、その後清水家から一ツ橋家の大名屋敷に。幕末には肥後熊本五十四万石の細川家の下屋敷となり、戦後は細川家十八代当主で、元内閣総理大臣・細川護熙氏も住んだ歴史的庭園です。

白門文京ノボりに集合した件の紳士淑女は、依頼したガイドさんの案内で、起伏に富んだ池泉回遊式の園内探訪に続いて、敷地内にある細川家の歴史資料・美術品を所蔵している「永青文庫」を見学し

て、前半の花より会は終了。後半のお楽しみ団子会は江戸川橋際の「やなぎ」で美味しいお餅で舌鼓。目当ての桜は三分咲きながら、心身共に満開状態で散会した。



細川庭園 ガイドさんの説明

中大スポーツ短信

飯塚翔太選手

世界陸上銅メダル

昨年のロンドン五輪四百メートルリレーで銀メダルを獲得し世界を驚かせた日本。本年八月に行われたロンドン世界陸上四百メートルリレーで英国、米国に次いで三位・銅メダルを獲得した。平成二十六年卒の飯塚翔太選手は五輪に続いて今回も第二走者を務め銅メダルに大きく貢献した。

阿部慎之助

二〇〇〇本安打

巨人の阿部というよりいまや日本のプロ野球を代表する中大出身の阿部選手が八月、

川上哲治以来四十九人目の二〇〇〇本安打を達成した。激務の捕手では野村、古田、谷繁に続いて四人目の快挙だ。

矢後君新十両に躍進

本年初場所、稀勢の里優勝、日本人横綱誕生で大相撲は大変なブームだが、昨年のアマ横綱・今年三月本学卒の矢後太規君が名古屋場所で大勝優勝、十両に昇進した。九月一日駿河台記念館で大学・学生会一体の激励会を開催。アマ横からプロ横綱への躍進を祈ろう。

文京区支部の春秋

これからの主な行事予定

大井競馬場 一攫千金ピール会

10月2日(月) 同競馬場 貴賓室

第二十六回中央大学ホームカミングデー

10月22日(日) 多摩キャンパス

温泉グルメ旅行会

11月中旬

忘年会

12月 東京ドームホテル箱根駅伝応援会

正月2・3日

 <p>株式会社 大創産業 Life Coordinate Shop 国内 3,150店舗 海外 26ヶ国 1,800店舗 / 年商 4,200億</p> <p>〒739-8501 電話 広島県東広島市西条吉行東一 四十四 FAX 八二(四二)一一三 八二(四二)二七四</p> <p>代表取締役 矢野博文</p>	 <p>株式会社 東京ドーム</p> <p>取締役 久代信次</p> <p>〒112-8575 電話 東京都文京区後楽一丁目三番 三(三八一)二二二番(大代表)</p>	<p>学校法人 中央育英学園 学校法人 東京育英学園</p> <p>理事長 学園長 野口 昇兵</p> <p>〒171-0022 電話 東京都豊島区南池袋二 一六 電話 三 五九九六 一九三一 www.kueigakuen.ac.jp</p>	<p>駒込名誉教授 武蔵野学院大学名誉学長</p> <p>白門文京 名誉会長 大久保 治男</p> <p>本宅 彦根城内井伊直弼学問所埋木舎 自宅 〒112-0011 東京都文京区千石二 一六四 TEL 三(三九四)八四四</p>
<p>株式会社 関東電気自主検査協会</p> <p>代表取締役 亀谷卓夫</p> <p>本社 〒112-0011 東京都文京区千石四 一四三 TEL 三(三九四)四六三 FAX 三(三九四)四八三</p>	<p>東京都知事免許(第)第一八九三七号 公益社団法人 東京都宅地建物取引業協会会員</p> <p>株式会社 駒込不動産</p> <p>代表取締役 奥野光績</p> <p>本社 〒113-0031 東京都文京区本駒込二丁目一番八号 支店 〒770-0003 東京都豊島区駒込二丁目十五番八号 TEL 代表(三九)八五四 J R 駒込駅 東口 FAX 三九一 五五</p>	 <p>音羽印刷株式会社</p> <p>監査役 土屋頼子</p> <p>本社 〒113-0033 東京都文京区本郷一 三二八 TEL 三(五六八)五二二 (中央大学学員日華友好会副会長)</p>	<p>〒170-0002 電話 東京都豊島区巢鴨一 二一三 三(五九八)九四八番</p> <p>倉田金二郎</p>
<p>〒114-0001 東京都北区東十条四 五一四 TEL 三(三九九)八八七 FAX 三(三九九)六一四 メール matsuda@kb.atr.ne.jp</p> <p>税理士 松田 茂</p> <p>税務相談・経理相談 経営相談・税務申告 松田茂税理士事務所</p>	<p>四谷タウン総合法律事務所 弁護士 大野雅樹</p> <p>〒160-0004 東京都新宿区四谷一 七八 電話 (三三三)七二七 FAX (三三三)七二八</p>	<p>中央大学 学員会 常任幹事 年次支部協議会 代表幹事 白門45会 支部長</p> <p>相場有二税理士事務所 所長 相場有二</p> <p>〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目2番9号 ブラウンハイツ本郷203 TEL (03) 3811-8302 FAX (03) 3811-8326 E-mail:aiba-jimusyo@ac.aone-net.jp</p>	<p>宮崎法律事務所 弁護士 宮崎治子</p> <p>東京都千代田区神田淡路町1 クリスタルビル5階 FAX 03(32253)0855 03(32253)0857</p>
<p>株式会社 松じん 松沼 茂</p> <p>〒113-0033 東京都文京区本郷四丁目二十六番八号 電話 (03) 3811-4170 FAX (03) 3811-4170 URL http://www.matsushin.jp/ メール shigen@netsu-sh.jp</p>  <p>和紙工芸品、民芸品の企画・製作</p>	 <p>各種印刷物、ホームページ等 販売促進ツールの企画・制作</p> <p>トライアシック株式会社 竹本 方英</p> <p>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-6-3 7階 TEL:03-3556-6892 FAX:03-3556-6894</p>	<p>司法書士 染野郁郎</p> <p>〒112-0004 東京都文京区後楽2-21-20 TEL 03-5805-1591 FAX 03-5805-1592</p>	<p>落語会のご用命承り口。</p>  <p>落語家 三代目 桂やまと info@yamato3rd.com 電話 /FAX 03-6755-8815 〒116-0011 東京都荒川区西尾久 4-31-5 最新情報は公式サイト、Facebook、Twitterで！ 【「桂やまと」で検索】</p>

編集後記



10月22日 日 多摩キャンパスで開催の中央大学ホームカミングデー、卒業50年を迎えた小生に記念行事への招待状、当日は同伴者共々飲食を伴う祝い会と、質実剛健を旨とする母校には珍しく洒落た企画。今年後期高齢者仲間入り 立派なビール腹だが、既に西国に旅立った白門仲間には献杯しつつ、大ジョッキを干そう (松)